

令和7年度都立戸山高校における教科指導の重点

| 教科   | 重点課題                       | 取組   | 発展的取組   |
|------|----------------------------|--|---|
| 国語   | ・「読むこと」「書くこと」の指導の充実        | ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認<br>・副教材や読書ノートによる提出物等で指導の充実を図ることを確認                                       | ・定期考査ごとに担当者全体での問題の検討と精査<br>・添削指導等による読解力、記述力向上への取り組み   |
| 地歴公民 | 1.授業規律<br>2.国際理解           | 1.教科会で各科目の年間指導計画を確認し、地歴公民科としての一貫性を保ち、50分の授業で勝負できる精度の高い授業<br>2.地理的・歴史的・時事的な視点で国際理解教育に取り組む、国際社会に貢献できる人材の育成 | 1.全ての授業で、社会的課題の解決を題材とした協働学習を実施。協働学習では、生徒の言語活動を重視、ICTを活用した内容の濃い学習機会<br>2.新聞その他のメディアを活用した時事問題の国際理解。国際理解の礎となる自国の地理、歴史、公共についての理解の深化。模擬選挙など、公民教育の充実。 |
| 数学   | ・数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成 | ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を育成する教材を扱う。<br>・数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う授業を展開する。             | ・事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を養う教材を扱う。<br>・学年共通の発展的な課題や補充問題の教材を作成する。<br>・深い考察を要する考査問題や実力テストを実施する。   |
| 理科   | 「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実        | ・大学入学共通テストの問題分析を実施<br>・難関大学の問題分析や入試対策を実施   | ・大学研究室訪問や課外活動を通して、探究の方法やレポートのまとめ方について学習<br>・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施  |
| 英語   | 「話すこと」「書くこと」指導の充実          | ・学期ごとにパフォーマンステストを行う<br>・パフォーマンステストに向けて教科書の内容と関連させながら段階的指導を行う。  | ・定期考査ごとに担当者全体での問題の検討と精査<br>・添削指導等による記述力向上への取り組み   |